

ゆりかご 園だより



4月号のねらい

2023・2・1

- ・表現活動を通して心を育てよう
- ・卒園・進級を期待しよう

ある日5歳のRくんが私にこう言いました
「園長先生、ておばあさんだよ。」

それは認めますが、なぜそう思ったのか興味
があったので聞いてみました。するとRくんは「おばあ
園長先生の口の周りには シワがあるもん」と言
たのです。

新型コロナウイルス感染症の影響でマスク着用が定着して3年近く経った頃
だったのでその答之に驚きました。Rくんが目にする私はいつもマスクをしているので
実際にはシワを見ていないはず。3年前の記憶？でもそれは2歳の時...と、
いろいろなことを瞬時に考えましたが、Rくんは私の口元以外の情報から判
断したのだと思います。5歳児ともなると目には見えないものが見えるのかな。
心の目でシワが見えたのだなと、とても感心したのでした。

ちいさい仲間2月号には、小児科医の武内一さんの「マスク着用が乳幼児期に
与える影響」についての文章が載っていました。一部紹介します。

コロナ禍での研究を含む129の論文からマスク着用の問題点を分析したイ
タリアの研究によると、**■**本来乳児は顔全体からその人を認識したり、感情
表現を理解するから、マスクの着用で顔全体が見えないことは乳幼児の発
達へ影響する可能性が推測される。**■**マスクを着用した顔から情報を得
ようとしても、その人が誰なのか、どう感じているのか理解しにくい。**■**乳児がこ
とばを覚える場合、顔からの情報、特に口の動きが重要。1歳になるとことばを
覚えていくが、その場合、大人の口に注意を払って発音を学ぶ。話す人が口を覆
ていると視覚と聴覚の同期ができな。

・・・コロナ時代の乳幼児は、目により注目するように変化しているだろう。
しかし、それが顔全体が見えない中でのネガティブな状況を補うのかどうな
のか、まだそのことを検証した研究はないようだ。・・・と締めくくっています。

政府は新型コロナウイルス感染症の位置づけを大型連休あけの5月8日
から季節型インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることが決定しました。マスク
着用は「個人の判断」となるようです。この3年間でのマスク生活が成長著
しい乳幼児期にどんな影響をもたらしたのか... 関心を寄せたいと思います。